

# NYマーケットレポート (2021年3月17日)

## 2021年3月17日(水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	29,914.33	-6.76	9.00%
ハンセン指数	29,034.12	+6.43	6.62%
上海総合	3,445.55	-1.18	-0.79%
韓国総合	3,047.50	-19.67	6.06%
豪ASX200	6,795.23	-31.90	3.16%
シンガポールST	3,109.65	+4.14	9.35%
インドSENSEX	49,801.62	-562.34	4.29%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	108.86	109.32	108.74
EUR/JPY	130.41	130.44	129.70
GBP/JPY	151.98	152.07	151.34
AUD/JPY	84.96	85.01	84.12
EUR/USD	1.1979	1.1985	1.1887
BRL/JPY	19.396	19.411	19.098
RUB/JPY	1.470	1.490	1.464

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,762.67	-40.94	4.68%
仏CAC40	6,054.82	-0.61	9.07%
独DAX	14,596.61	+39.03	6.40%
スペインIBX35	8,599.50	-58.20	6.51%
イタリアFTSE MIB	24,281.05	+19.93	9.21%
トルコ・イスタンブール100	1,562.11	-8.31	5.78%
ロシアRTS	1,493.66	-59.15	7.65%
南ア全株指数	66,494.49	-794.88	11.93%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1727.10	-3.80	-9.08%
NY 原油	64.60	-0.20	32.84%
CBOTコーン	558.00	+3.75	15.47%
CRB指数	192.676	-0.754	14.83%
ドル指数先物	91.442	-0.423	1.67%
VIX指数	19.23	-0.56	-15.47%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	33,015.37	+189.42	7.87%
S&P500	3,974.12	+11.41	5.81%
NASDAQ	13,525.20	+53.63	4.94%

  

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	18,983.10	+109.09	8.89%
メキシコ・ボルサ指数	47,679.49	-524.46	8.20%
ブラジル・ボベスパ指数	116,549.44	+2530.66	-2.07%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	57850	56530
Ripple(XRP)【BSTP】	0.468	0.459
Ethereum【BSTP】	1816.89	1796.84
Bitcoin Cash	533.70	524.07

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.728%	1.701%
ニュージーランド10年債	1.782%	1.775%

  

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.133%	-0.141%
10年債	0.100%	0.105%
30年債	0.665%	0.678%

3/18 経済指標スケジュール
09:30 【オーストラリア】2月失業率
09:30 【オーストラリア】2月雇用者数
09:30 【オーストラリア】2月労働参加率
13:00 【日本】2月首都圏新規マンション発売
16:00 【スイス】2月貿易収支
16:30 【スイス】2月生産者輸入価格
17:30 【スウェーデン】2月失業率
18:00 【ポーランド】2月生産者物価指数
18:00 【ノルウェー】政策金利
19:00 【欧州】4Q労働コスト
19:00 【欧州】1月貿易収支
20:00 【トルコ】政策金利
21:00 【英国】3月政策金利
21:00 【英国】3月英中銀議事録
21:30 【米国】新規失業保険申請件数
21:30 【米国】失業保険継続受給者数
21:30 【米国】3月フィラデルフィア連銀景況指数
23:00 【米国】2月景気先行指標総合指数
23:30 【米国】EIA天然ガス貯蔵量

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.291%	-0.336%
英国 10年債	0.830%	0.785%
フランス 10年債	-0.040%	-0.090%
イタリア 10年債	0.700%	0.630%
スペイン 10年債	0.380%	0.310%

  

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.133%	0.149%
10年債	1.643%	1.618%
30年債	2.418%	2.378%

3/18 主要会議・講演・その他予定
・ラガルドECB総裁 討論(ユーロ圏の現状)
・米10年TIPS債入札
米第4四半期決算～ナイキ、フェデックス

## NY 市場レポート (前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで)

### 米国の主要な経済指標の結果

2 月住宅着工件数 142.1 万件 (予想 155.5 万件・前回 158.0 万件⇒158.4 万件)

2 月住宅着工件数 (前月比) -10.3% (予想 -1.6%・前回 -6.0%⇒-5.1%)

2 月建設許可件数 168.2 万件 (予想 175.0 万件・前回 188.1 万件)

2 月建設許可件数 (前月比) -10.8% (予想 -7.2%・前回 10.4%)

2 月の米住宅着工件数は、2 カ月連続のマイナスとなり、昨年 8 月以来 6 カ月ぶりの低水準となった。前年比も-9.3%となった。長期金利上昇で住宅ローン金利が上昇していることが影響した可能性が指摘されている。一戸建て住宅は-8.5%の 104.0 万件 (前月 113.6 万件)、集合住宅は-14.9%の 38.1 万件 (44.8 万件) と減少した。地域別では、西部が+17.6%、北東部が-39.5%、中西部が-34.9%、南部が-9.7%となった。一方、着工件数の先行指標となる建設許可件数は 4 カ月ぶりに減少となった。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 0.00%-0.25% (予想 0.00%-0.25%・前回 0.00%-0.25%)

### FOMC の主な声明

- ・新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、米国全土と世界各地に甚大な人的・経済的困難を引き起こしている。
- ・回復ペースが緩やかになった後、経済活動や雇用の複数の指標はこのところ上向いている。
- ・パンデミックによる影響を最も受けたセクターは脆弱なままだ。
- ・インフレ率は依然として2%を下回っている。
- ・全般的な金融環境は引き続き緩和的だ。
- ・経済の道筋はワクチンに関する進展を含め、ウイルスを巡る状況に大きく左右される。
- ・インフレ期待は2%でと留まるまで、緩和的な金融政策スタンスを維持する見通しだ。
- ・FF 金利誘導目標のレンジを 0.00-0.25%に据え置くことを決めた。

### パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・政策のおかげで最悪の経済的結果はいくつか回避された。
- ・金融政策は回復するまで著しい支援を提供
- ・経済の回復が引き続き不均衡かつ不完全
- ・今後数か月でインフレ率は上昇する
- ・一時的にインフレ率が2%を超えたとしても利上げの要件を満たさない
- ・現行の金融政策スタンスは適切
- ・債券購入の縮小を話し始める時期ではない
- ・米国と欧州で回復軌道に開きが見られる
- ・テーパリング検討の軌道に入ればサインを発信する

### ダウ平均は2日ぶりに取引時間中、終値ベースの最高値を更新

米株式市場では、米 FOMC を控えて様子見ムードが高まるなど、主要株価指数は序盤から小動きの展開が続いた。FOMC では、金融緩和政策を長期に維持する方針が示されたことや、経済成長見通しが上方修正されたことを受けて買い安心感が広がり、主要株価指数は軒並み上昇となった。ダウ平均株価は、一時前日比 221 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。引けにかけて高値圏を維持し、189.42 ドル高 (+0.58%) で終了、終値ベースの最高値も更新した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、53.63 ポイント高 (+0.40%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	4.48%	1	DOW	4.48%
2	資本財	2.07%	2	ボーイング	3.28%
3	金融	0.44%	3	キャタピラー	3.17%
4	石油・ガス	0.36%	4	マクドナルド	1.93%
5	通信サービス	0.20%	5	インテル	1.54%

データを基に SBILM が作成

## ドルは FOMC を受けて主要通貨に対して下落

NY 市場では、序盤に発表された 2 月の米住宅着工件数が 2 ヶ月連続のマイナスとなり、昨年 8 月以来 6 ヶ月ぶりの低水準となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まる中で、下値は限定的だった。その後、米 10 年債利回りが昨年 2 月以来の高水準となる 1.68% 台まで上昇したことから、ドルは小動きながら堅調な動きとなった。そして、FOMC では、FF 金利の誘導目標の据え置き、国債買い入れなど量的緩和の継続が決定された。一方、メンバーによる経済予測では、経済成長見通しが上方修正されたものの、2023 年までゼロ金利政策を維持する方針が改めて示されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して下落した。さらに、米主要株価指数が軒並み上昇したことから、クロス円も堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。